

申請者氏名

(専門医受験・様式2C_2017)

(記入例)診療実績表 C カテーテルアブレーション(内科系は20症例、小児科系は10症例)

※赤字は好ましくない記入例です

患者番号	1	性別	男性	年齢	●●	生年 月日	19●●/●/●●	サマリーD1の症例	1頁目にサマリー提出症例を集めて、Cの患者番号1の症例を、サマリーDの患者番号1(以下同様)にして下さい
不整脈診断	持続性心室頻拍								
合併疾患	陳旧性下側壁梗塞、高血圧、高脂血症								
アブレーション 対象不整脈	心室頻拍								
施行日	20●●/●/●● ※研修修了証明書がある日付のこと							術者・助手 (いずれかに ○して下さい)	
結果	通電中にVTは停止、以後誘発不可能 ※転帰ではなくアブレーションの結果を記入のこと								
合併症	なし								
患者番号	2	性別	男性	年齢	●●	生年 月日	19●●/●/●●	サマリーD2の症例	アブレーションの対象となった不整脈疾患名を記入して下さい
不整脈診断	持続性心房細動								
合併疾患	年月日は西暦で記入して下さい 高血圧								
アブレーション 対象不整脈	僧帽弁閉鎖不全症								
施行日	平成●●年●月●日							術者・助手 (いずれかに ○して下さい)	
結果	転帰ではなく、アブレーションの結果を記入して下さい 治癒(再発なし)								
合併症	高血圧 合併疾患ではなく、アブレーション後の合併症を記入して下さい								
患者番号	3	性別	男性	年齢	●●	生年 月日	19●●/●/●●	サマリーD3の症例 (内科のみ)	
不整脈診断	心房頻拍(Cox-mazeⅣ術後)								
合併疾患	僧帽弁閉鎖不全症(僧帽弁形成術後)								
アブレーション 対象不整脈	心房頻拍								
施行日	20●●/●●/●●							術者・助手 (いずれかに ○して下さい)	
結果	ブロックライン作成に成功、頻拍は停止								
合併症	どちらか分るように、必ず○印をつけて下さい								
患者番号	4	性別	女性	年齢	●●	生年 月日	19●●/●/●●	サマリーD4の症例 (内科のみ)	
不整脈診断	合併症が無い場合は空欄にせず、「なし」と必ず記入して下さい 持続性心房細動								
合併疾患	高血圧								
アブレーション 対象不整脈	心房細動								
施行日	20●●/●●/●●							術者・助手 (いずれかに ○して下さい)	
結果	伝導ブロックに成功、頻回ペーシングで心房細動は一切誘発されず								
合併症	なし								

* 内科系は4症例、小児科系は2症例のサマリー(様式2D)を提出して下さい